

令和5年度 校長室からみなさんへ NO.46

たかすしょう きょういくかつどう 高洲小の教育活動⑬

ほんこう たいけんてきがくしゅう とお しゃかいせい どうとく つちか ちいき
本校では、体験的学習を通して社会性や道徳性が培われるよう、地域とのかかわり
あ ふか ふ かえ かんが ちから そだ さまざま がいぶこうし
合いを深め、体験を振り返って考える力を育てるため、様々な体験活動や外部講師を
まね かつどう と く
招いての活動に取り組んでいます。

◎ 6年生「被爆体験講話」

浦安被爆者つくしの会の方を講師にお招きして、被爆の朗読劇「伝えたい あの日のことを」と、被爆されたご家族の体験についてのお話を伺いました。

参加した6年生は、熱心に話に耳を傾けながら、想像力を働かせ、真剣に考えている様子でした。



ユーチューブで公開されている
被爆の朗読劇

「伝えたい あの日のことを」
第3版（新版）をご覧ください！



ユーチューブを開いて「浦安つくしの会」で検索してください。
以下の URL からご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=fEq94x6kGe8>

スマホの方は
右側の QR コードからも見ることができます。



この朗読劇を一人でも多くの人にご覧いただき、
核兵器廃絶と世界平和に貢献してくれることを願っています。
PR、拡散も合わせてお願いします。

令和2年11月
千葉県原爆被爆者友愛会
浦安被爆者つくしの会

子どもたちの感想から（それぞれ一部抜粋）

- ◆けんかや争いにならないようにする。人が嫌だと思ふことをしない。
- ◆戦争が二度と起こらないように、自分でどうすればいいのかを考えたいと思いました。
- ◆助け合う、やさしい気持ちをもつこと。
- ◆戦争をなくすのはむずかしいことだと思うけど、身の回りで起きるケンカや暴力などは、自分たちで解決できることだから、言葉を使い、身の回りから平和にしていきたい。
- ◆頭の良い人たちが、国のトップになったりするのには、子どもができる話し合いができないのは不思議だと思った。
- ◆この平和は当たり前じゃないから、この平和を守っていききたいと思う。
- ◆戦争についてもっと知ること。
- ◆武力だけでは人が傷つくだけで、何も進まない。
- ◆他人事だと思っていたらだめ。
- ◆自分たちができることは少ないけれど、核兵器を無くすことを訴え続けることは大切だと思いました。
- ◆話を聞いて、原爆の恐ろしさや、戦争をやってはいけないという気持ちが強くなった。